

2023年度 国立情報学研究所

共同研究 公募



未来価値創成

国立情報学研究所は、わが国の情報学分野での「未来価値創成(学術創成)」を目指し、国内外の大学及び研究機関の研究者との共同研究を推進しています。情報学には、人と社会に今までにない実価値を生み出す新しい理論、方法論、応用展開(未来価値)が求められています。そのような研究のさらなる推進と他の学問分野との連携による研究の開拓を進めるため、共同研究を募集します。

応募締切

2022年12月1日(木)

応募資格

- ① 国内の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生(※ただし、社会人大学院生に限ります)
- ② 国内の民間企業等に所属する研究者

応募方法

応募書類は電子データでのみ受け付けます。下記アドレスへ申請書の電子データ(Microsoft Wordファイル)をお送りください。

宛先: kyoudou@nii.ac.jp

宛名: 国立情報学研究所 総務部 企画課
社会連携推進室 公募型共同研究担当



募集要項及び申請書等の様式は、本研究所Webサイトからダウンロードできます。
<https://www.nii.ac.jp/research/collaboration/koubo/>

NII公募型共同研究

検索



多様なワークスタイルを支えるコミュニケーション
支援技術の研究など、提案してみませんか?

若手研究者、女性研究者、遠方の大学等の研究者の皆様のご応募歓迎いたします!

募集する共同研究の種類

戦略研究公募型

年間上限150万円

情報学の動向を踏まえて本研究所が戦略的に設定した下記のテーマから希望の研究テーマを選択の上、具体的な研究課題を自由に設定してください。

事業系

- ① COVID-19との共存を支える研究の提案
- ② SINET6を活用した革新的基盤機能及びアプリケーション・サービスの提案
- ③ NII-SOCSのデータを活用したサイバーセキュリティ解析技術の提案
- ④ オープンサイエンス時代を見据えた大学における研究データ管理体制整備の提案
- ⑤ 研究資源としての「データセット」の構築と活用基盤の提案
- ⑥ 社会の活動の効率化を実現するCPS/IoTサービスとシステム基盤デザインの提案
- ⑦ 不確かなAIやCPS/IoTシステムにおける品質エンジニアリング技術の提案
- ⑧ 文化財のより深い利活用のための革新的モデルとアルゴリズムの提案
- ⑨ 次世代インターネットのための基盤技術の提案
- ⑩ 教育研究のデジタル革新を推進する技術や手法の提案
- ⑪ 量子情報処理のためのアルゴリズム・プログラミングの提案
- ⑫ 人間中心のAI社会を実現するためのシンセティックメディアに関わる基盤技術の提案
- ⑬ 多様なワークスタイルを支えるコミュニケーション支援技術の研究の提案

研究企画会合公募型

年間上限80万円

下記の少なくとも一つを満たす新規の研究課題を自由に設定し、会合（交流会、議論、実習、打合せ等）を実施してください。情報学研究の枠組に拘らず、研究課題を自由に設定してください。

- 異分野と情報学との連携
 - 情報学同士の連携強化
 - 情報学の難問に挑戦する新たなグランドチャレンジ
- 会合は、共同研究者5名以上で実施してください。今回の公募では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大による影響を考慮し、会合の実施場所に制限を設けません。詳細は募集要項をご覧ください。

自由提案公募型

年間上限100万円

研究課題を自由に設定し、実施してください。



公募型共同研究担当 副所長

高須淳宏からのメッセージ

国立情報学研究所の公募型共同研究では、国内の研究者の皆様からのご提案を広く受け付けています。学術情報基盤の高度化や先端的な利用及び大学の機能強化に関する戦略的研究、異分野と情報学との連携を想定した研究企画会合、研究者の自由な発想に基づく研究を公募します。情報学に関係する萌芽的・探索的な研究の立ち上げや、新たなコミュニケーションの場の創出にご活用下さい。2023年度は、戦略的研究として多様なワークスタイルを支えるコミュニケーション支援技術の研究の提案を新たに募集します。また、昨年度から引き続き、国際共同研究を積極的に支援します。

